

すまくちいきじりつしえんきょうぎかいつうしん 須磨区地域自立支援協議会通信

No. 10

発行元：すま障害者地域生活支援センター

連絡先：〒654-0154

神戸市須磨区中落合二丁目 2-8

ワコーレ須磨名谷ステーションマークス 1階

☎ 078-795-1453

FAX 078-795-1454

編集者：特定非営利活動法人ほっとぽっと

目次

1 ページ・・・須磨区地域自立支援協議会

親子プロジェクト 野入悦子

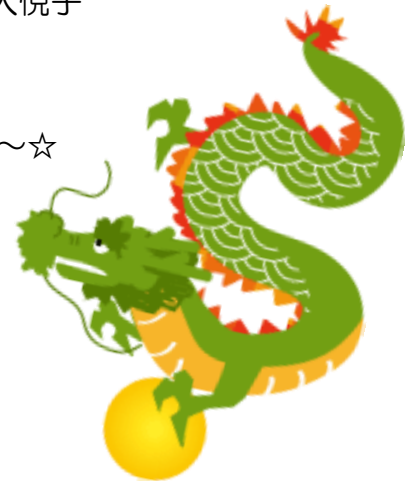
2, 3 ページ・・・各部会活動内容報告

4 ページ・・・しいちゃんのおじゃましまんにやわ～☆

編集後記

支援の輪を広げよう

親子プロジェクト 野入悦子



梅のふくよかな香りに、かすかに春の訪れが感じられるこの頃です。

昨年は、日本のあちらこちらで自然災害が起こり多くの尊い命が失われたことに心が痛みました。そして被災地はまだまだ支援が必要な状況が続いています。小さくても息の長い支援を共に続けてまいりましょう。

さて、須磨区地域自立支援協議会の作業部会が6つのプロジェクトで活動を始めて3年になります。それぞれのプロジェクトが地域のニーズを探り、具体的な活動を進めてきたことで、会員同士が顔見知りになり、横のつながりができ、一つのプロジェクトでは得られない幅広い関係ができてきたと思います。また、イベントや講習会などで地域にお住まいの方々とふれあう中で、障害を正しく理解していただける機会となり、様々な支援をしていただけるサポーターとして活動に参加していただけることもありました。須磨区には、まだまだ支援の力になってくださる方が大勢いらっしゃいます。私たちから広く情報を発信することで、誰もがくらしやすい須磨のまちづくりの輪を広げていきましょう。

[就労支援部会 就労支援]

就労支援セミナー「就労当事者の体験から、就労支援を学ぶ」 / 9月1日

以前より希望が上がっていた、就労されている当事者の体験談を聴くセミナーを開催しました。当日は事業所利用者及び職員合わせて25名の参加となり、当事者の方(2名:精神障害者、身体障害者)それぞれの心に響くお話しに、参加者一同感銘を受け就労に対する意識を高める良い機会となりました。

又、後半はアドバイザーとして参加頂いた神戸市中部障害者生活・就労支援センターの職員の方より、9月に実施される合同面接会の情報提供等もして頂き、就労に向けて有意義なセミナーとなりました。来年度も是非開催してほしいとの意見を多数頂きました。



[地域生活支援部会まなぼー！]

「ご存知ですか？災害時の対処法」～災害時の基礎知識を学ぶ～ / 9月17日



今回初めて、災害時の勉強会を開催する事となり、神戸市 須磨消防署予防査察係の藤井茂樹担当主任に講演のお願いを致しました。当日は須磨区民センターで開催し、12名の皆さんの参加となりました。火災発生時の対処方法や、住宅用火災報知機に関して等のお話を聴き、火災時のDVDを視聴する共に、東南海・南海地震と津波に関しての情報提供もして頂き、改めて災害時の基礎知識を学習するたいへん良い機会となりました。

[就労支援部会 就労支援]

第5回 離宮公園合同清掃会 / 10月21日

今回は9事業所の参加となり、総勢74名の方々が合同清掃を行いました。天候にも恵まれ清掃日和となり、参加者の皆さんは5グループに分かれ、いつもの落ち葉集めのみならず、新たな作業として雑草抜きにも取り組みました。清掃後はボランティアさん手作りの「どら焼き」を味わい、事業所間の良い交流の機会となりました。もちろん「どら焼き」の方も大好評でした。又、今回は神戸新聞の取材も受け、1週間後の朝刊に掲載されました。



「気づきの事例検討会」～事例を通して検討会を体験する～／10月26日



事例検討会を行っていく上でのポイントを寺澤愛氏にお話しいただき、昨年度行った事例の振り返りを行いながら、現状の課題の検討会を行いました。参加数が13名と少々少なかったのが残念でしたが、参加者の皆さんからは、内容が充実しており、事例検討会に対する意識が変わったとの意見が聞かれました。今後も定期的に事例検討会を開催して行きたいと思っておりますので、皆様の参加をお待ちしております。

[就労支援部会すまいんど]

すましあ手作り広場／11月12日

今年も「Sumacia 手づくり広場」が、名谷パティオの買物広場で行なわれました。

今回、より多くの商品を見て頂こうと、「Sumacia passport」というスタンプラリーも行いました。1回のお買い物ごとにシール1つをプレゼントし、シールを4つ集めるとSumacia オリジナルクリアファイルをプレゼントするというものだったのですが、参加された方には楽しんで頂けたと思います。ステージでは地域の幼稚園のマーチングバンドから始まり、ハンドベル、ジャンベ(アフリカの太鼓)、詩吟、バンド演奏等、多彩なプログラムで楽しませていただきました。エンディングは高校生のブラスバンドで盛況のうちに終了しました。



[地域生活支援部会 ピアサロン] スポーツ交流会／11月23日 だいち小学校にて



今回は初めて「だいち小学校」の体育館をお借りしました。スタッフを含め約60名の参加となり、6グループに分かれて行なわれました。今回はフライングディスクだけでなくグランドゴルフにも初めて取り組み、2つのスポーツを楽しむ事が出来ました。1投1打に白熱し、大歓声を送られました。結果発表では各グループの上位3名にはマドレーヌで出来た金・銀・銅メダルが授与され、皆さん、お菓子入りのメダルに驚かれた後、喜んで下さいました。開催するにあたり、さまざまな配慮を頂いた、だいち小学校の先生方、ありがとうございました！

ボランティア活動36年！ のぼらグループ代表 坂本ヒロ子さん



今回は、ボランティアグループ「のぼらグループ」の代表、坂本ヒロ子さんにインタビューさせていただきました。高倉台の地域を中心に、施設のお手伝い、収集ボランティア、地域講座、福祉バザー、スクールボランティアなどなど、良いと思う事、出来ると思う事を幅広く取り組まれ、地域の主婦を中心にボランティア活動を広めていく中心になっておられます。長年のグループの活動に対して、平成20年緑綬褒章を授与されました。

しい こんにちは。今日はよろしくお願ひ致します。
まず、ボランティアを始められたきっかけを…。

坂本さん 1975年4月に神戸新聞社の「婦人のためのボランティアセミナー」に参加したのがきっかけで、セミナーの仲間と地域にボランティアグループを発足させました。うちの子がまだ幼稚園に行っていた頃です。

しい どうして「のぼら」という名前になったんですか？

坂本さん 始めたころ、幼児の通園施設のぼら学園で、お散歩の手伝いをしてくれる人がほしいと聞いて、お手伝いに行くようになりました。それで「のぼら」にしたの。

しい 今も続けておられるのですか？

坂本さん ええ。散歩の他、おもちつきとか行事に、月1回くらいは行っていますね。それに、今は小学校のスクールボランティアとか、地域の老人会の人たちと協力して行事を計画したり…。地域ではイベント屋さんです。(笑)

しい 地域の中で、助け合う雰囲気を作っていくのに、ボランティアグループが中心になっているのですね。どこの地域にもそういうグループがあればいいですね。

坂本さん 生活の中で、無理なく出来る事で、少し人の役に立つ事をする。やれることは誰にでもいっぱいありますよ。それに、「出かけなければ出会えない」人との出会いで、人は成長していくと思いますから。「ボランティア、こんな楽しい事、知らな損」みんなに、その人に合った事で何か参加して、と誘っています。

「小さな事の積み重ね。私、始めた事は止めない性格なので…」とおっしゃる坂本さん。ボランティア活動を含めて、生活全体を楽しんでおられます。趣味のひとつに川柳があるそうです。

青空に わたしの悩み ほうり投げ

震災が 鉛筆だったら 消せるのに (兼題 鉛筆 にて) ヒロ子

楽しいお話、ありがとうございました。

インタビューコラム「しいちゃんのおじゃましまんにゃわ〜」は
今回で終了させていただきます。



編集後記 新年を迎えたと思ったらもう1月が終わってしまいました。17年前のこの時季、小雪舞う瓦礫の街で「なあに、2か月も頑張れば春は来る」と励ましあった事を思い出します。確かにこの頃少しずつ日が長くなっているのに気づくのですね。極寒の東北に一日も早く春が来ますように。まもなく立春。こちらは少し遅れましたが、ニュースをお届けします。 平成24年1月